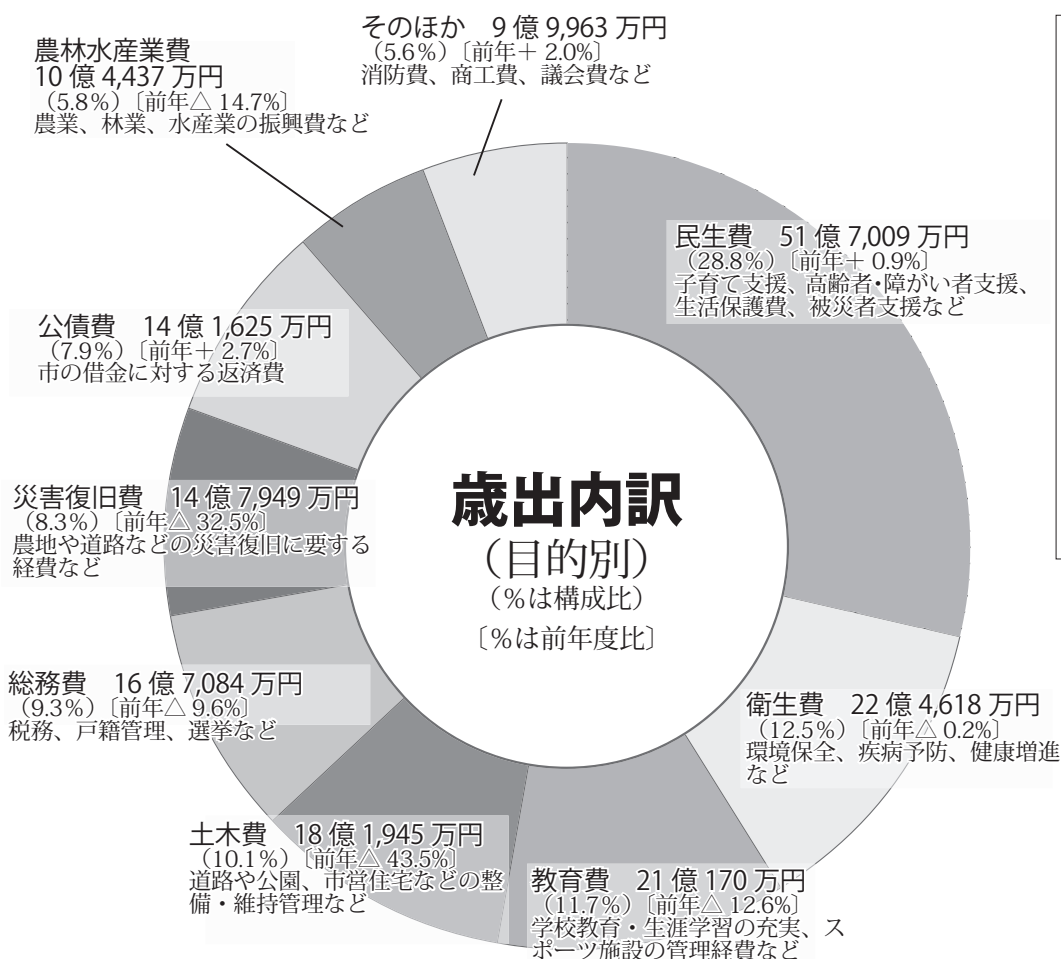


令和3年度の当初予算概要

一般会計予算 179億4,800万円

- ▽通常予算 約154億円
- ▽東日本大震災予算 約7億円
- ▽令和元年東日本台風などの予算 約15億円
- ▽感染症対策予算 約3億円



令和3年度一般会計の当初予算は、東日本大震災の復興が進みハード事業がおおむね完了したため、前年度から大きく減額となっています。

歳出については、令和元年東日本台風などで被災した農林施設、橋りょうなどの災害復旧事業、新型コロナウイルス感染症対策経費およびワクチン接種経費などの予算を計上しています。

ここでは、目的別に、主な事業を紹介します。

各予算の事業の紹介で(新)となっているものは、新規事業(令和2年度当初予算にない事業)になっているよ。



衛生費

- (新) 新型コロナワクチン接種事業
1億9,929万円
接種会場としてスポーツアリーナそうま第一体育館、第二体育館を予定しています。
- (新) 感染症対策事業
3,681万円
新型コロナウイルス感染症の市内まん延を予防するための対策を実施します。
- 公立相馬総合病院への負担金
4億8,311万円



発熱外来診察室
(公立相馬総合病院内)

災害復旧費

- 道路橋りょう災害復旧費
7億9,224万円
令和元年東日本台風などにより被災した道路・橋りょうなどの災害復旧経費です。
- 農用地等災害復旧費
5億3,709万円
- 林業用施設災害復旧費
1億5,017万円



被災した中橋

教育費

- ICT 活用教育支援事業
8,612 万円

タブレットなどを活用した教育支援のために要する経費で、本年度は小学校3・4年生児童へのタブレット配備や大型モニターの整備を行います。



- 学校給食無料化事業
1 億 8,166 万円

- 幼稚園教育無償化事業
1 億 8,598 万円

- 心のケア事業
2,429 万円

東日本大震災で被災した児童生徒やその保護者などに対して、臨床心理士によるカウンセリングなどの心のケアを継続し、子どもたちの健やかな成長を支援します。

総務費

- (新) 衆議院議員総選挙事業
1,950 万円

- (新) 市長選挙事業
2,196 万円

- 地方路線バス運行経費
4,257 万円

公債費

- 公債費元利金償還金
14 億 1,625 万円

そのほか

消防費、商工費、議会費など

- 消防施設整備（消防ポンプ整備など）
1,444 万円

- 議会運営経費
1 億 4,143 万円

土木費

- (新) 小泉川ポンプ場耐震・改築工事
2 億 3,000 万円

市街地の雨水排水を担う小泉川ポンプ場の耐震化・設備更新を行います。



小泉川ポンプ場

- (新) 普通河川緊急浚渫（しゅんせつ）整備
700 万円

河川氾濫などの大規模な浸水被害対策のため、普通河川の浚渫を行います。

農林水産業費

- 浜の駅 松川浦管理運営経費
3,544 万円

令和2年10月にオープンした復興市民市場「浜の駅 松川浦」を活用して風評被害の払しょく、交流人口の拡大を図ります。



浜の駅 松川浦

- 有害鳥獣捕獲事業
2,026 万円

有害鳥獣の捕獲、農地への侵入防止対策を推進し、農作物などの被害防止を図ります。

民生費

- 放課後児童クラブ運営経費
4,993 万円

令和3年度より、新たに川原町児童センターの分室を設置します。

- 保育園施設等整備補助
3 億 1,598 万円

子育て環境の充実のため、認定子ども園移行に伴う改築に、国と共に支援を行います。

- 子ども医療費助成事業
1 億 5,323 万円

- 生活保護扶助事業
2 億 9,134 万円

次のページには、歳入や特別会計などを掲載しています。

● 問い合わせ先 財政課 (☎ 37-2123)

地方譲与税など
11億4,043万円 (6.3%)
〔前年+1.5%〕
国が集めたガソリン税や自動車重量税、消費税などから、一定の基準により配分されたお金

使用料・手数料・財産収入など
5億2,872万円 (3.0%) 〔前年△2.9%〕

諸収入 2億5,518万円
(1.4%) 〔前年+4.2%〕

一般会計 歳入予算

歳入については歳出と同様に、東日本大震災の復興が進みハード事業がおおむね完了したため、前年度から大きく減額となっています。

市税については、新型コロナウイルス感染症の経済に与える影響などから個人市民税、法人市民税の減収を見込んでいます。

市債 12億8,690万円
(7.2%) 〔前年△17.8%〕
金融機関などから借り入れる市の借金

国・県支出金
52億9,487万円
(29.5%) 〔前年△7.1%〕
国・県からの負担金・補助金など

繰入金 15億279万円
(8.4%) 〔前年△46.3%〕
他の会計や特定の目的に積み立てた基金などから充てる資金

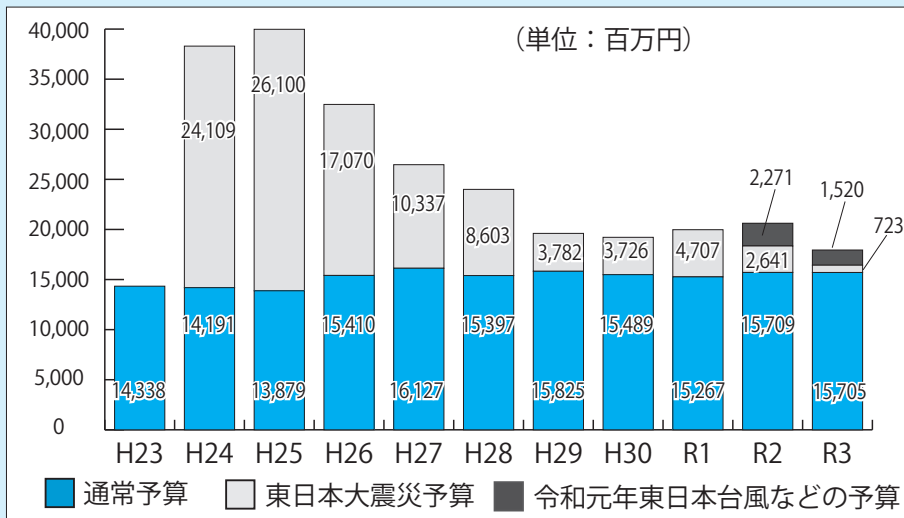
歳入内訳

(%は構成比)
〔%は前年度比〕

地方交付税 30億4,094万円
(16.9%) 〔前年△18.8%〕
税収の多い少ないに関わらず、どの自治体でも一定の行政サービスができるように国から交付されるお金

市税 48億9,817万円
(27.3%) 〔前年△0.0%〕
市民の皆さんや会社が納める税金
市民税 19億6,434万円
固定資産税 24億9,542万円など

一般会計当初予算額の推移



今年度の東日本大震災に関連する予算は、前年度の約26億円から約7億円と、19億円の減額となっています。予算全体に占める東日本大震災関連費の割合は、4.0%です。

令和元年東日本台風などの復旧事業に関連する予算は約15億円となっており、予算全体に占める割合は、8.5%です。



特別会計予算

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計とは財布を分けて管理しています。

特別会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	36億2,800万円	△5.9%
後期高齢者医療	4億3,700万円	1.9%
介護保険	37億5,693万円	△1.1%
光陽地区造成	11億5,605万円	0.0%
合計	89億7,798万円	△2.8%

企業会計予算

公共下水道事業および農業集落排水事業は、令和2年度より企業会計に移行しました。これにより、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上などを図っていきます。

企業会計		予算額	前年度比
下水道事業	収益的支出	12億9,135万円	△4.1%
	資本的支出	6億3,806万円	△19.9%
合計		19億2,941万円	△10.0%